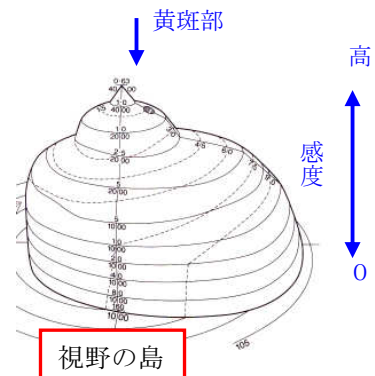


視野

人間は何かを見ているとき、視線のまっすぐ先が最も感度の高い（視力が出る）箇所、網膜では黄斑部に当たります。

もちろん、黄斑部以外に映っているものも見えていますが、中心から外れるほど感度は落ちていきます。感度が同じ位置をつないでいくと、視野は等高線のように島の形で表わすことができます。

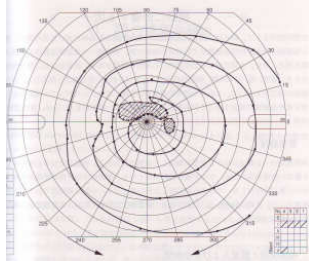


緑内障では神経線維が障害され、抜け落ちた部分の感度が落ちます。

神経線維が多く抜けるほど感度が大きく落ち込み視野が欠けてきます。

等高線が滑らかな島ではなく、突然窪地のように低くなったり、穴があいたりします。

ゴールドマン視野計（動的視野検査）

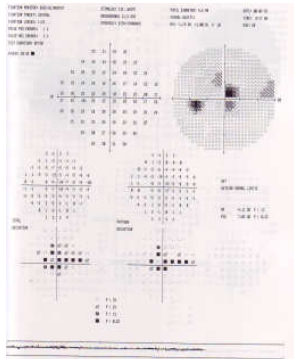


等高線を測定し視野の全体像を再現するのが動的視野検査です。

視野全体の変化を把握できるので、視野の欠損と共に実際の見え方が判る検査です。



ハンフリー視野計（静的視野検査）



測定点が予め決まっていて、それぞれの位置での感度を測定するのが静的視野検査です。

一定の範囲内（ 30° ）での感度を精密に測定できるので、初期の視野変化に大変有効です。

